

宮澤弘幸墓参と北大OBの集いのご案内



国家権力は、81年前の太平洋戦争開戦にいたるまでに、要塞地帯法（1899年）、防御海面令（1904）、軍用資源秘密保護法（1939年）、国家総動員法（1938年）に加えて、治安維持法を大改悪（1941年）し、国防保安法（1941年）、戦時刑事特別法（1942年）制定と、国民弾圧法制を強行しました。宮澤弘幸は、こうした弾圧法制の下で、太平洋戦争開戦日に特高によって検挙されたのです。

この苦難の歴史を踏まえて現状をみるならば、まさに「戦争前夜」の様相を呈しています。

再び、宮澤弘幸の残酷を繰り返させないために、そして「戦争への道」を突き進む岸田政権を打倒する思いを共有するために、墓参と北大OBの集いへの参加を呼びかけます。

◆宮澤弘幸 追悼・顕彰墓参

○日時 2023年2月23日（木・祝日）11時30分から

○場所 新宿・常圓寺 160-0023 新宿区西新宿7-12-5 03-3371-1797

*なお、宮澤家の親族から、宮澤家の墓に眠る5人の御霊は、来年4月に宮澤家の墓のすぐ裏につくられた「供養塔」に移すとの知らせをいただいています。このため現在の宮澤家のお墓へのお参りは、来年が最後となります。

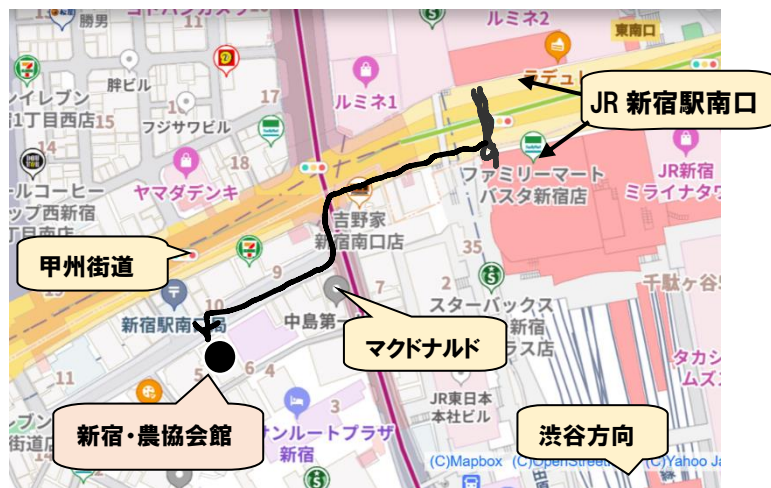
◆北大OBのつどい

○日時・場所 宮澤弘幸墓参後、新宿・農協会館で、13:00から（詳細は裏面）

<常圓寺から新宿・農協会館>



<JR新宿駅南口から新宿・農協会館>



君にも知ってほしい！ 国が戦争に暴走し自由を圧殺した 宮澤・レーン「スパイ冤罪事件」のことを！

▼とき／ 2月23日（木、祝日） 13：00～16：30

▼会場／新宿・農協会館 8階大会議室

（JR新宿駅南口より甲州街道を右方向へ、西新宿1丁目交差点を左折、マクドナルド右折。徒歩5分 電話 0120-981-440）

北大学生達と独伊仏米の外国人教師達とは、外国人教員官舎において交流会「心の会」を持っていました。それが軍機法違反に当たると、対英米開戦日に宮澤弘幸と英語教師レーン夫妻はスパイ冤罪で検挙されます。宮澤は網走に収監。終戦後釈放されますが、獄中で患った病で無念の死をとげた命日が1947年2月22日です。宮澤家もいわれなき差別を受けました。レーン先生も収監後強制送還させられています。事件は国家の暴走の恐ろしさを見せつけたといえます。

今回は、北大法学部OGである青木美希さんに「原発と平和、ジャーナリズム」について講演を頂き、国民の安心・安全、自由とは何かを考える機会とするとともに、若い世代に民主主義をつないでいくために出来ることはなにかを考えたいと思います。

敵基地攻撃能力保持・軍事費増大・世論操作研究など戦う準備がすすんでいます。格差解消・赤字財政解消、エネルギー・食料の供給確保など、本来の国の安全保障に取り組みたいものです。それが「今を生きる国民の将来世代への責任」なのでないでしょうか。

第1部

1. DVD上映「HBC 開戦日特集・宮澤・レーン事件」ほか
2. 挨拶 山野井孝有さん（北大生・宮澤弘幸「スパイ冤罪事件」の真相を広める会 元代表）
3. 札幌での取り組みについての報告 奥井登代さん（宮澤・レーン事件を考える会幹事）

第2部講演：「原発、憲法、ジャーナリズムのいま」

青木 美希さん（ジャーナリスト）



第3部 参加者の発言・交流

▼参加費 1000円 懇親会はおこないません。

北大OBOG以外の方も大歓迎！ ぜひ、ご参加ください。

青木美希さんの略歴 札幌市出身。北大法学部卒。「北海道警察裏金問題」、原発事故を検証する企画「プロメテウスの罠」、「手抜き除染」報道でそれぞれ取材班で新聞協会賞を受賞。著書「地図から消される街」（講談社現代新書）で貧困ジャーナリズム大賞、日本医学ジャーナリスト協会賞特別賞など受賞。2021年4月に「いないことにされる私たち」（朝日新聞出版）を出版。

（つどいに先立ち、西新宿・常圓寺に午前11時半行って墓参をおこないます。可能な方はご参加ください）

主催：宮澤・レーン事件を忘れない！北大・戦後世代をつなぐOBOG会

問い合わせ 村瀬 090-4947-5393、メール ymurase@kce.biglobe.ne.jp 泉 090-4534-1375、向山 090-4675-5483（準備の関係で参加希望者は事前にメールか電話でご連絡いただければ幸いです）

協力：協力：宮澤・レーン事件を考える会 宮澤「スパイ冤罪事件」の真相を広める会・事務局
事件の記憶を次の世代につないでいくために、

北大構内の外人教官官舎跡に案内板とモニュメント設置することを働き掛けます